

芸術

1. 改訂学習指導要領の特徴と問題点

(1) 目標について

芸術の目標、前段に変更はないが、「芸術の幅広い活動を通して、**生涯にわたり**芸術を愛好する心情を育てるとともに、」を受けて、前改訂では「**生涯にわたり**」が入るのは各科目の だけであった。ところが今回は各科目の 、 にも「**生涯にわたり**」が追加された。 まで履修することを想定しているのではなく、 、 、 のどこで履修を終えても生涯教育の側面から、各科目の目標を達成する仕掛けになっているのが特徴である。

後段には「**芸術文化についての理解を深め**」が追加され、「感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、**芸術文化についての理解を深め**、豊かな情操を養う。」となった。

これを受けて、音楽 、書道 には「 **文化についての理解を深める**」が追加されている。

また音楽、美術より日本文化の色彩が濃い、工芸、書道の 、 には「 **の伝統と文化についての理解を深める。**」とある。これまでの「 の文化や伝統」としていた語順を変えているところにも特徴がある。

更に工芸では「美術文化」が「**工芸の伝統と文化**」と置き換えられている。

(2) 内容について

もっとも大きな特徴は、これまで簡潔に項目が羅列されていたが、具体的に「 を する。」と記載されていることだ。義務教育の音楽、美術の指導要領に近くなってきている。

従来の内容の記載については賛否両論だろうが、「指導要領解説」を読むまでもなく、指導内容を「指導要領」のレベルでかなり限定していると感じる。

生徒の実態や設備を考慮して、指導者の責任で、指導内容に広がりを持たせることができたこれまでの記載と、内容が限定的になるのでは、現実の授業には違いが出てくるだろう。もちろん現段階で、全く内容に広がりを持たせられないものではないが、今後、内容が改訂され、より限定的にならないとも限らない。

(3) 内容の取り扱いについて

大きな特徴は二つあり、まず全科目に「知的財産権」に関わる記述が追加されたことだ。これに関わり著作物を尊重する態度の形成を計るようになることとなる。また美術では「肖像権」、美術、工芸では「事故防止」「安全指導」に関する記述が追加された。

もうひとつの特徴は、生徒作品を互いに批評し合う活動を取り入れる記述が、美術、工芸、書道でされていることだ。音楽だけ生徒相互の批評活動の記述が無く、違和感がある。

(4) 道徳教育および「生きる力」との関わりについて

教育に芸術分野が存在しているのは、芸術が人間の感性や心情、情操といったものと切っても切り離せない存在であり、人間の成長に深く関わっているからである。改めて道徳性だの「生きる力」だのをとってつけなくとも、深く芸術に関わり、芸術を創造する過程で人間の成長に寄与しているものと考えらる。

指導要領で道徳性や「生きる力」を叫ぶ必要があるとするなら、もっと別の道徳性や「生きる力」を意図しているのではないかと感じる。

つまり、芸術は、彼らの意図する狭い意味での道徳性や「生きる力」を凌駕する存在であり、改めて道徳性や「生きる力」を取り入れる必要はいということだ。生徒の芸術性や能力を高めつつ、生徒の成

長を見出せる取組みを、これまでどおりに作っていくことが大切だと考える。

2. 自主編成の基本的視点

前回の自主編成の視点にもあるとおり、私たちが学校教育の中で芸術科の授業が担うべきものを明確にし、授業の質を高めることは必須である。それは小手先の道徳や生き方教育であってはならない。生徒の内面に深く届く、芸術との関わりを作っていくことにあると考える。

それには教材を深く研究し、より深く生徒の内面に訴えかける授業作りをしなければならないだろう。指導要領、教科書を「自分の視点」に読み替えていくことが大切になる。

また一方、新たな文化、分野の開拓にも常に目を向ける努力も必要だと考える。日々生産され、生徒が興味をもつ新たな文化の中にも優れた作品や芸術性、技術が存在する。指導者もそれら作品や、メディアの進歩に少しでも興味をもち、新たな表現方法を開拓しなければならないだろう。

全く別の視点であるが、生徒が生涯にわたり芸術と関わるために必要な、基礎基本の定着は必要だと考える。「好きこそ物の上手なれ」とは言うが、好き放題に何かを始めるだけが良い方法とは限らない。最低限必要な知識や技術があれば、生涯にわたって芸術と関わる事が出来るのではないか。それも必要な力のひとつではないかと考える。芸術の本質に迫りつつ、一方で基礎基本を大切にすることは、決して矛盾することではないが、少ない授業時数の中での努力は困難なことは間違いない。

3. 科目構成案

	A 案			B 案		
	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	3 年
音楽 美術 工芸 書道	2			2		
音楽 美術 工芸 書道		2			2	
音楽 美術 工芸 書道			2			2

他教科との選択